

## 2023年度 高1 奉仕活動の日 活動報告

目 的：○これまで Blue Earth Project 等で継続して実施してきたビーチクリーンを実施し、自然環境の保全に貢献する。

○海を見ながら楽しくビーチクリーンを行い、その意義や楽しさを実感しつつ、海ごみ（特にプラスチック）の実態を知る。

場 所：JR須磨駅前から東の須磨海岸

協 力：NPO 法人神戸海さくら様

須磨海岸の海洋環境保全に対するサステナブルな取り組みとして、これまで9年間ビーチクリーン活動を行ってきておられるNPO団体で、“楽しくなければ続かない”を基本理念に、オシャレで遊び心満載に、海の良さを体感できるビーチクリーン活動これまで200回以上も続けてられています。

開会のお祈りをした後、NPO 法人神戸海さくら代表の森口智聡様より活動の趣旨と流れについて説明いただきました。



チームごとに麻袋、トング、マイクロプラスチック回収用のビニール袋を受け取り、約1時間ビーチクリーンを行いました。





ビーチクリーン終了後、ゴミを種類別に分けて、ごみの種別量を確認しました。



活動終了後、神戸海さくら代表の森口様に総括をいただきました。

我々も代表生徒より感謝の言葉を贈りました。



最後に全員で記念写真を撮り、解散しました。



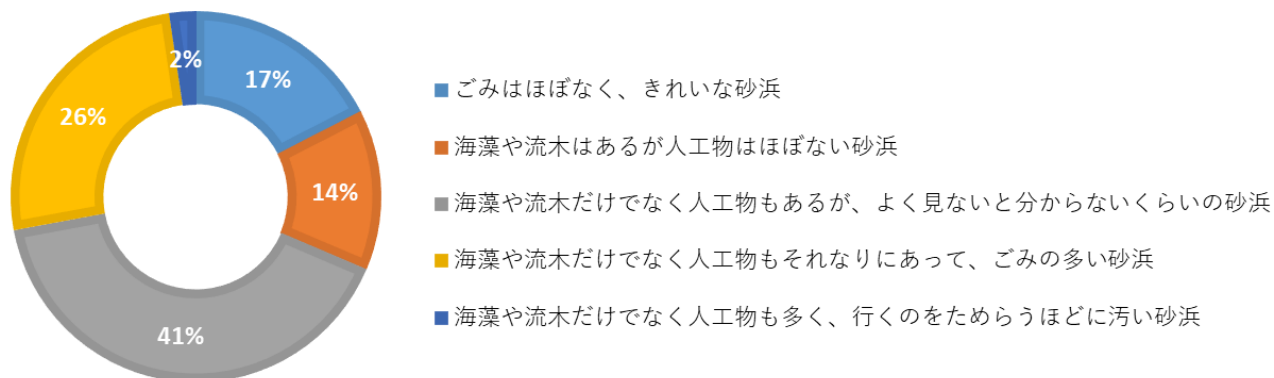
次ページ以降は、事後に行ったアンケートの集計結果です。

自由記述の回答はどれも素晴らしいものばかりでしたので、できるだけ多く載せました。

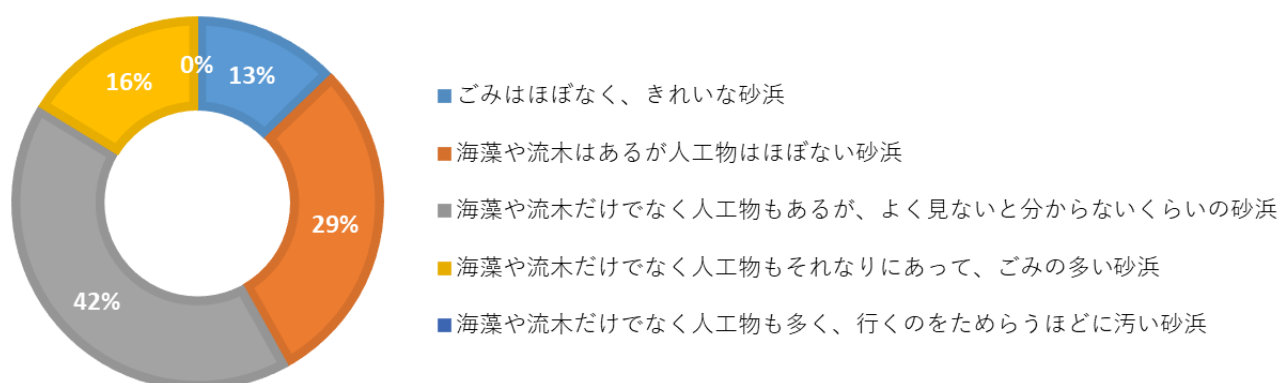
ビーチクリーンを体験したことによって、我々の意識が変わり、環境の改善に繋がればと思います。

## アンケート結果

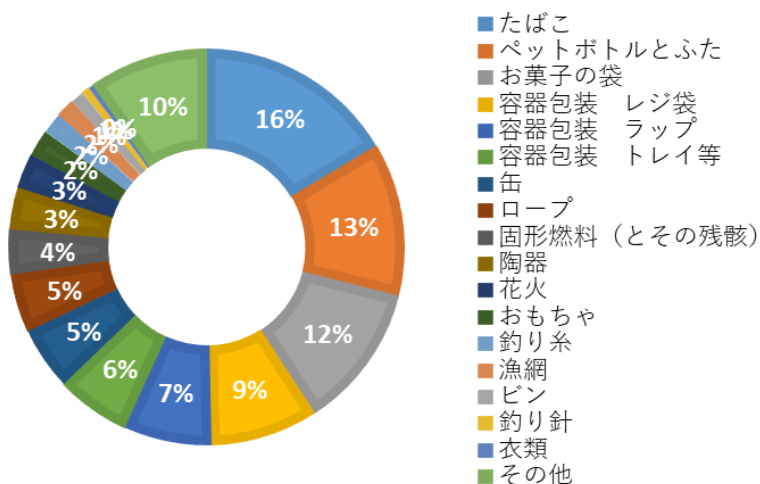
### 1. 活動に参加する前の須磨海岸のイメージを教えてください。



### 2. 集合時に見た（活動前の）実際の冬の須磨海岸はどうでしたか。



### 3. どんなゴミを拾いましたか。（複数選択）



### 4. 海ゴミはどのようにしたら削減できると思いますか。

- ・ゴミになってしまう物も、食べれたり 自然に優しい素材で作る。
- ・分別を行う。プラスチックを削減する。ペットボトルじゃなくて、水筒を持ち歩くなど。
- ・ブルーアースプロジェクト等の活動をし、より多くの人に海ごみの危険さなどを知ってもらう。
- ・ビニール袋をなくす。駅にポイ捨てをしないようにポスターをたくさん貼る。
- ・海辺で遊ぶ時は必ずゴミ袋を持って行く。
- ・タバコの吸い殻はポイ捨てするのではなく、喫煙所で吸い捨てる。（タバコを吸わない）

- ・プラスチック製のものを使うのを控えたり、リサイクルなプラスチックを使う。"
- ・プラスチックの梱包材の生産を減らし、木の繊維の加工品など、自然に帰るものを使う。
- ・日常的にゴミを減らす努力をする。そのためにビニール袋を使わずにマイバックを使うなど小さいことを繰り返すだけで少しでも削減できると思う。
- ・「自分たちで出した袋などのゴミは自分たちで持ち帰るまたはポイ捨て禁止」の注意書きの看板をつける。
- ・ビーチでのポイ捨てに対する法律を作り、罰金制度を設ける
- ・花火をする場合は「処理が簡単な花火を各自で持参し、ゴミは持ち帰るか、近くのゴミ箱に捨てる」という旨の看板をつける"
- ・少しでも環境に興味を持ち、環境啓発グループに入って活動したり、ビーチにポスターを貼るなど。
- ・海付近に何ヶ所かゴミ箱を置く。海ゴミにお金みたいな価値を持たせ、その量に見合った物々交換を成立させるようにする。
- ・街中にゴミを捨てるとどうなるのかなどのポスターを作る。
- ・外出先で生じたゴミは持ち帰って捨てるようにする。
- ・ポイ捨てをしたら罰金など罰則を付けたら減っていくのではないかなと思う。
- ・ゴミをそのまま捨てずにゴミ箱に捨てる。海岸にはゴミ箱を比較的沢山設置する
- ・若い人がごみ拾いをしたり呼び掛けとかポスターを作ってみる
- ・海に遊びに行ったとき、帰り際には自分のゴミ関係なくゴミ拾いをしたり、陸に落ちているゴミでも可能な限り拾うことが大切だと思います。
- ・国や自治体、もしくは SNS やテレビでゴミを捨てることの重要性を伝える
- ・ポスターやもっとテレビの CM を流して日頃から意識して行くことが大切だと思います。
- ・プラスチックゴミに代替できるものを使用する
- ・Blue earth project の活動や、地域の清掃活動を通して様々な世代の人に清潔さを保つ大切さを知って貰い、各家庭でプラスチック製の商品避けたり、ボランティアでは、カラスによるゴミ荒らしの対策をするなどして回りの人との関係性を深めつつ、環境を良くすることの大切さを学ぶ。
- ・まだ、海の現状に危機感を覚えていない人も多いので、啓発活動を行う。
- ・海に入ってしまったら、取りに行く。
- ・プラではなく環境に戻るもの、ずっと使い続けられる物を使用する"
- ・ポイ捨てした場合の罰則を設ける。注意喚起の看板などを設置する
- ・個人でゴミ袋を持っていく。飲食をしない。タッパーなどに入れて持っていく。
- ・その場を立ち去る時は周りを確認してから動く
- ・レジ袋使用を断る,物を買すぎない,繰り返し使える物を選ぶ,ポイ捨てしない
- ・ゴミの持ち帰りを呼びかけたり人の多い時期はゴミ箱を設置する
- ・今回のようなゴミ拾いや、海に溶けるプラスチックを使用するようにするなど
- ・皆がゴミを海に捨てない意識を持つ
- ・海浜にゴミ箱を何個か設置する、活動している際周りにゴミ箱が設置されていなかったから
- ・ポイ捨ては犯罪ということを強調する。
- ・当たり前なことだけどポイ捨てなどしない自分達が作ったゴミは持って帰るまたは指定の場所に捨てるなど。

- ・色々なところで呼びかけたり、ポスターを貼ったりしたらいいと思う。
- ・自分の出したゴミに責任を持つ、買い物をするときマイバックを持参しビニール袋を貰わない、使い捨てのスプーンや割り箸の使用を控える
- ・海さくらさんみたいに毎日砂浜を掃除する
- ・ポスターやチラシ等の作ってみんなが見るような場所(駅の改札付近、学校等の掲示板)に貼る。今日の奉仕活動のようにボランティアをする。
- ・海さくらさんが取り組んでいるゴミ拾いなどに積極的に参加することやポスターや広告等で呼びかけること。
- ・海さくらさんの様な団体を他にも作る
- ・海外と同じ様にポイ捨てをしたら罰金
- ・海でゴミを捨てる人がいないか見る人がいても良いと思う"
- ・学校とかで月１でゴミ拾いをする
- ・地域のボランティア活動などに参加する

##### 5. 今回のビーチクリーンの感想を教えてください。

- ・本音を言うと掃除に乗り気ではなかったのですが、やってみるとすごく楽しくてやりがいがある物だったのでやって良かったと思いました。楽しかったです。
- ・貝殻の近くにマイクロプラスチックが沢山あったので、海から貝殻と一緒に上がってきたように見えた。また、マイクロプラスチックが砂の中にもあったので、長い間分解されないことがよくわかりました。
- ・ブルーアースでも同じ場所でビーチクリーンをしたけど、一向にゴミが減ってなくて驚きました。
- ・始める前は、海が綺麗に見えてビーチクリーンする意味ないと思っていたけど、いざやってみるとたくさん小さなゴミがあってやりがいがあった楽しかったです。
- ・前回 Blue Earth でも海岸清掃を行ったが、そのときよりは綺麗だったので少し安心した。しかし、まだゴミがあったということは誰かが海にポイ捨てをしているということなのでリサイクルできるものはリサイクルし、燃えるゴミなどはしっかりゴミ袋に入れて捨てるなど海を汚さない工夫をもっとたくさんの人に伝えたい。また、須磨海岸だけでなく他の海岸でもたくさんゴミがあったので、他の海岸にも清掃活動に行きたいと思う。
- ・たくさんのゴミが見つかって、一時間拾っただけでもこんなに見つかるのかと思った。
- ・ブルーアースで行った時はとてもゴミが多くあまりいい印象ではなかったけど今回の奉仕活動ではゴミを拾う前に全体的に綺麗になっているなと思った。その裏にはゴミ拾いをしている沢山の活動によって成り立っていることに気づいた。
- ・BlueEarth の時も今回と同じことをしたが、やはり捨てられているゴミの量が多く感じた。メガネのレンズや植木鉢まで拾い上げたので、ここでポイ捨てをした人が多かったと実感した。環境整備や綺麗なビーチの景観を守るためにも、絶対ポイ捨てをせず、自分たちでゴミを持ち帰る意識を強くしようと改めて思った。
- ・前回、ブルーの活動でビーチクリーンをした時よりゴミが少なくて、驚いた。けれど、砂浜の一部分だけを見た時に大量のマイクロプラスチックが視界に入った。海洋生物のためにもプラスチックゴミを捨てるときはちゃんと分別してゴミ箱に捨てないといけないなど、改めて思った。
- ・思っていたより大きいゴミより小さなマイクロプラスチックが多かった
- ・タバコの吸い殻が、多くあって驚いた。ビーチに生えてる草を抜いてみると、根っこにマイクロプ



ラが多く絡まっていて生命体に大きく悪影響を及ぼしている事が分かった。

- ・実際にビーチクリーンをしてみると想像していたゴミ以外の物もあった。砂を掘って見るとゴミが埋まっていることもあった。実際に体験しないと分からなかったことだらけだったので有意義な時間だった。
- ・活動をする前は遠目で見てもはっきり分かるようなゴミはないので、時間も余裕で余って終わりそうだなと思ったが、マイクロプラスチックゴミが思ったよりも多く、もっと時間があっても拾いきれなかったなと思った。
- ・須磨にちゃんとした海岸があると思っていなかったのが、海が身近に感じられた。雑草を掘り返したら根に絡まったたくさんのプラごみが出て来たので、植物のためにもゴミ拾いは大切だなと思った。
- ・正直想像していた量よりは少なかったけれど、場所によってゴミの量にムラがあったので、全体でみたら少ないわけではないのかなと思いました。思っていたよりもマイクロプラスチックが多く、深刻さが伝わりました。
- ・ペットボトルに濁った水が沢山入ってきてこれも海を渡って海岸にやって来たのかなと気づけた
- ・初めてビーチクリーンをして、もっとたくさんごみが落ちていると思っていたけれど、意外と少なくてびっくりした。
- ・マイクロプラスチックが砂の中に沢山混じっていて貝殻との見間違いなども起きたのでゴミ拾いは簡単というイメージでしたがビーチクリーンには沢山の時間と人手が必要だと感じる事ができました。
- ・須磨海岸に来てすぐは意外と少ないと思いましたが、近づいてみると色々なゴミが落ちていてタバコが圧倒的に多いと感じました。私は初めてゴミ拾いをしましたが、私の知らないところでこういう活動が行われていっているから須磨海岸の海がだんだん綺麗になっていっているんだと実感しました。これからもっと環境のことを意識して生活し、地域などのボランティアにも積極的に参加して行けたらいいなと思いました。
- ・思ったより海岸は綺麗に見えたが、よく見るとマイクロプラスチックが埋もれてることが多かった為、依然としてマイクロプラスチックの影響が大きく残っていると感じた。
- ・ブルーアースでもうみさくらさんと活動したことはあったけれど改めてやってみて、全くないとなることはないんだなと思いました。毎月1回はやっているうみさくらさんの人達は本当にすごいなと思いました。
- ・ビーチクリーンをする前は「見た目も綺麗だからプラゴミは少ないかな」と思っていたが、想像以上に多く驚いた。全員でゴミを拾ってもゴミの量は一部であって、まだまだたくさんのゴミが散乱していると実感した。このビーチクリーンを通して私は、ビーチクリーンの重要性和私達が普段食べている魚の命の大切さを学んだ。
- ・マイクロプラスチックが多かった印象を受けました。
- ・大きなごみは見つけやすかったが、マイクロプラスは見つけにくかった。予想外のものがたくさん落ちていて驚いた。
- ・前もしたけどまた溜まってたし、小さいプラゴミは人間からしたらあまり関係ないし一つ一つ取るのが大変だったけど、これが他の生き物にとっては命に関わるものだと思うと見落としがちなものも集めて、綺麗な海岸にしたいと思いました
- ・前回より細かいゴミを沢山拾うことができました。想像以上にゴミが多くて驚きました。
- ・大きなゴミはほぼ無かったが、砂浜をよく見ると、小さなプラスチック片や透明なシーグラスなど

がたくさん見つかった。小さな子供が裸足で砂浜を走り回るにはとても危険だった。改めて海ゴミ問題の深刻さに気づいた。

- ・色んなゴミがあって発見があった
- ・前だったらゴミもなく綺麗な須磨海岸のイメージが、この活動を行ったことにより人間のせいでこんなにゴミがあるんだとびっくりしました??
- ・日々ビーチクリーンをしている団体の方がいなかったら綺麗な海は保たれないのでこの活動は非常に大切なものだった。
- ・前回 Blue Earth で須磨海岸に行った時よりプラスチックゴミの量が少なく感じた。しかし、タバコの吸い殻は増えていた。
- ・前回のブルーでの活動で海ゴミ拾いをした時よりもゴミが少なくなっていて、海ごみ問題について考えてくれる人が増えて来ているのだと実感できた。
- ・少しでも貢献できてよかった
- ・ブルーアースの活動出来た時よりも、ゴミが少なかったのはまだ朝だからなのかなと思った。活動を通して、ゴミはゴミ箱に捨て、ない時は持ち帰って処分しようと思った。お年寄りの方よりも若者が活動すると影響力があることもよく分かったので、私も積極的に活動に励みたい。
- ・実際にやってみて、人間は本当に鬼だと思いました。地球を大切にすることで社会問題を解決するひとつの力になると感じました。これからは、自分の行いを振り返り正していきたいと思います。
- ・ただ歩いているだけでは気づかないような小さなゴミも多くあった。また海藻や植物に絡まってお菓子のゴミが落ちていたりした。海岸を綺麗に使うためにも自分で出したゴミは持ち帰る、ポイ捨てはしないことなどの呼びかけをしていきたいと思った。
- ・思ったより浜辺にゴミが少なくて、海さくらさんなどの活動によって人の意識を変えていくことができるのだと改めて思いました。ゴミが落ちていない綺麗な場所にはポイ捨てはされないのだと思い、積極的にゴミの多い場所から綺麗にしていくことが大切だと思いました。
- ・最初は面倒だと思っていたけど、やり始めたら楽しかったしやりがいを感じた
- ・思ったよりゴミが多くてびっくりしたし、金属とかありえへんものもあったから、ヤバって感じた。
- ・見た目はゴミ落ちてないけど砂浜に埋まっていて、海浜に訪れている多くの方は自分がゴミを捨てていることを自覚しているのだと思った。
- ・ごみが多く、環境問題に対する考え方が深まった。
- ・少ないと思ったら結構あったし、時々こういうことをして社会に貢献したいなと思いました。
- ・今まであまりビーチクリーンなどはしてこなかったのでこうした活動でできて良かったです。
- ・ブルーアースプロジェクトでやった時よりも少なかったのでもやはり天気でこんなにゴミの量が違うんだなと思いました。
- ・今回で2回目でしたが一回目とはまた違ったゴミの種類や多さに驚きました
- ・誰かがしてくれているとゆう感謝の気持ちを忘れたらいけないと思いました
- ・広い砂浜からゴミを拾うのは大変だった。
- ・普段、海岸を見る機会がないので歩き回らないとゴミは見つからないという状況を想像していましたが、自分の周りの地面を見るだけでマイクロプラスチックが落ちている光景を見てすごく驚きました。普段からマイバックを使うなどゴミを減らすための取り組みは一人一人ができると思うので、私も今回のビーチクリーンを通して意識してみようと思いました。
- ・写真では伝わりきれない程の小さいゴミがたくさんあったので実際行ってみないとわからないなと思いました。

- ・ブルーアースできた時よりもごみが減っていて日に日にゴミが減っているんだと実感して嬉しく思いました
- ・思ったより汚くて驚いた
- ・色々なゴミがあることを知れてよかったです
- ・初めてビーチクリーンをして思ったより汚いことに気づきました。
- ・マイクロプラスチックが多かったなと思いました
- ・自分が思っていたよりもゴミの種類が多かった
- ・これからはきちんと気をつけて使おうと思った
- ・みんなの意識で変わるといいなと思いました。
- ・綺麗な砂浜だしあまりゴミ等はないと思っていたけど、砂浜をよく見るとプラスチックやガラスの破片などがあってびっくりした。
- ・奉仕活動は大変だったけど終わったあとの達成感が少し感じれたので良かった。
- ・予想していた海より綺麗だった。だが、よく見るとゴミが見えたりとゴミ拾いをしないと汚くなってしまうような気がした。海さくらさんがおしゃっていた若者がゴミ拾いに取り組むこと私もボランティアに参加したいと思った。
- ・大変だったけれど砂浜の状況が知れて良かったと思いました。
- ・前 Blue Earth Project で海岸の掃除をした時よりはゴミが少ないと思った。それでもゴミが一個もないわけではないので今後どうしたら海岸のゴミが減るのか解決策を見つけて活動して行けたらと思います。
- ・砂浜を見た時ゴミはない様に見えました。でも実際にクリーン活動をしてみると意外にもたくさんあって驚きました。大きいゴミも蟻くらい小さいゴミもあって、動物たちがゴミを餌だと間違える事があるけど、餌を食べた時に小さいゴミごと食べてしまうこともありそうだなと思いました。自分が捨てたゴミでなくてもポイ捨てをしているのを見たら、自分がゴミ箱に捨てようと思いました。
- ・思ったよりゴミが少なかった印象ですがプラスチックの破片などが細かく落ちている印象でした。
- ・タバコのゴミが多かった
- ・前回 BlueEarth で行った時はゴミがすごく多くびっくりしましたが、今回は少なくなっていたので成果が出ていて良いなと思いました。
- ・よく行く場所で、なんとも思っていなかったけどボランティアの方とかこういう活動をしてる方のおかげで、そんなに目にもつかないくらいのゴミしかないんだなと思いました。